

. 2014 年 4 月 1 日

スカパーJSAT 株式会社

### 2014 年度入社式にあたり新入社員への社長訓示（要旨）

スカパーJSAT 株式会社（本社：東京都港区、代表取締役 執行役員社長：高田 真治）は、本日 4 月 1 日、港区赤坂の本社会議室において 2014 年度入社式を行いました。

10 名の新入社員（男子 6 名、女子 4 名）に対し、次のように社長訓示を行いました。

---

#### 【社長訓示】

入社、おめでとうございます。

皆さんが社会人として踏み出すにあたり、私から一言お話ししたいと思います。

本年度は、スカパーJSAT にとって大きな変革の年です。

1996 年の有料多チャンネルサービス開始以来続けてきた MPEG2 の放送を 5 月末をもって終了します。そして、このプレミアムサービスで使用している東経 124 度 128 度衛星の空き帯域で、6 月には世界初の 4K 放送開始へ向けたオールジャパンの作業が進んでいます。

わが社は幾多の合併・統合を経て、自ら衛星 16 機を保有するアジア最大のオペレーターであり、370 万の加入規模をもつ衛星多チャンネルプラットフォームという世界でも例のないビジネススキームの会社です。先人たちは、未踏の事業領域に挑戦し、技術革新と競争環境の変化の中で柔軟に適合して成長しつつ生き残ってきました。

いま放送事業の環境はスピードを加速しつつ大きく変化しています。IP/モバイル化はハード・ソフト両面で従来の放送領域に襲いかかっている一方、放送技術の進化によって、衛星放送にとって 4K8K など新たな高度化サービスを可能にしてくれようとしています。

宇宙・衛星事業においては、国内では災害や BCP 対策における衛星の有用性の理解が進み大きな官公庁案件などでの成約が進む一方で、グローバルマーケットにおいては世界のオペレーターが生き残りをかけた競争を繰り広げています。

これら変化は当社にとって成長への大きなチャンスですが、マーケット動向を読み誤り、イノベーションの波に乗り遅れると一気に優位性は失われて市場から退場を余儀なくされることは数々の栄枯盛衰の歴史が教えるところです。

皆さんは先輩たちの DNA を受け継ぎ、変化やリスクに臆することなく、新たな技術や事業領域に挑戦することで、社業の発展のみならず放送・通信事業の存在意義でもある安心・安全で豊かな国民生活の実現に貢献してください。

これからの精進と活躍を期待しています。一緒にがんばりましょう。

以上